

長崎大学21世紀COEプログラム
「放射線医療科学国際コンソーシアム」最終報告会を開催



出席者記念撮影



報告会会場の様子

3月1日(木), 文部科学省の重点支援事業により5年間の補助(7億7千万円)を受けた長崎大学21世紀COEプログラム「放射線医療科学国際コンソーシアム」の学内最終報告会が, 医学部ポンペ会館において, 事業推進関係者ら60名以上の参加のもとで開催されました。

2002年度(平成14年度)に採択された本COEプログラムが最終年度を迎え, 「放射線生物学・生命科学」, 「原爆被爆者医療・疫学調査」, 「国際医療協力・分子疫学」, 「緊急被ばく医療・再生医療・環境放射線」の4分野において計14名の代表演者がこの5年間の活動成果の報告を行いました。本COEプログラムでは, 各研究課題に沿った形で放射線生命科学や被ばく医療に関連する海外研究拠点との間に幅広い国際コンソーシアムが形成され, 優れた研究業績と人材育成が成し遂げられました。今後は, 従来の活動分野を更に発展させ, 新たに放射線健康リスク評価・管理に関する基礎研究と臨床研究を推進させる予定です。

また, 本学が国際社会において放射線医療科学分野における融合型教育研究の中核拠点となることを目指し, 次期のグローバルCOEプログラムへ『放射線健康リスク制御国際戦略拠点』を申請中です。

(COE 報告会実行WG)